



# 徳島大学 上勝学舎便り

平成 27 年  
1 月 1 日発行

徳島大学上勝学舎は、農山漁村地域の持続可能な発展に資する自然共生型社会構築のため、人材育成・研究・支援連携のレジデント型拠点活動を行います。

## 上勝学舎の取組み（平成 26 年度の重点テーマ）

### ○【課題解決のテーマ】

・集落再生：①森と水 100 年 ②地域資源と教育 ③集落と景観 ④ 6 次産業化

### ○【新たな価値創造のテーマ】

・①協働づくり・中間支援 ②未来創造デザイン

## 【報告】地域再生人材創出講座

○日程：平成 26 年 11 月 22 日（土）・23 日（日）・24 日（祝）〔3 日間〕

○会場：高丸山千年の森ふれあい館 ○参加者：52 名

○内容：

- ・東京、神戸、愛媛、香川など全国各地からの参加者と多くの学生参加者を得て 2 泊 3 日の研修を行いました。
- ・1 日目は、花本町長、(株)いろどりの横石社長はじめ上勝町内の若手起業家や NPO、また集落再生のリーダーのみなさんから上勝のまちづくりの現状と展望を伺いました。
- ・2 日目は、ゼロウェイスト、エコツーリズム、旭地区の活性化、傍系地区の活性化の 4 つのテーマに分かれ、グループでの町内フィールドワークを行いました。
- ・3 日目は、そのフィールドワーク結果をもとに上勝の地域活性化への提案を参加者より行い、町民のみなさんからのフィードバックをいただきました。
- ・参加者からは、「異なる世代や立場の人たちの一緒に上勝町の課題を話し合い、アイデアを出せたことが楽しかった」「上勝町が、起業家の集まる町になったらと思います」などの感想が寄せられました。



### 【予告】

#### ■棚田感動ビジネスワークショップ 1 月 30 日 第 3 回（ESD 教育ツーリズム編）

○日程：1 月 30 日（金）15:00-18:00

○会場：上勝町ふれあいセンター（予定）

○講師：

- ・細川 威典（阿南市羽ノ浦中学校校長）
- ・中岡 禎雄（尼崎市南武庫之荘中学校教頭）
- ・上月 康則（徳島大学大学院教授）

### 【予告】

#### ■上勝学講座：森林資源エネルギー 2 月 10 日 森林資源を暮らしに、エネルギーの地産地消

○日程：2 月 10 日（火）18:00-20:30

○会場：千年の森ふれあい館（予定）

○講師：

- ・新妻弘明  
（東北大学名誉教授、日本 EIMY 研究所所長）

## 【開催報告】 第2回 集落再生情報交流会

- 日程：平成26年12月13日（土）13:00-17:00 ○会場：徳島大学上勝学舎
- 参加者：34名 ○共催：上勝町 ○協力：かみかつ棚田のめぐみ活用会議
- コーディネータ：澤田俊明（徳島大学客員教授）、坂本真理子（環境とまちづくり）



### 情報共有1 上勝町集落再生事例

- 報告①：藤田欣宏氏（傍示中央集落再生委員会・会長）
  - ・17世帯で構成し、集落の会堂づくりを役場等と連携して実施。生け花や花木など、集落の人材の幅の広さを再確認。8月11日に徳島大学上勝学舎との連携を実施し学生等を受け入れ。
- 報告② 平岡友一（市宇名・総代）
  - ・毎月10日夜に定例の集落会議を開催している。集落会議の最初は、毎回講師を招聘してストレッチ等の健康体操を行い意見交換。集落の花（お茶の花）、集落の木（シュロの木）を決定。
- 報告③ 多田和幸（美しい集落（谷口・大北）推進協議会・会長）
  - ・谷口・大北の2集落が連携して全体会議・役員会議をそれぞれ2ヶ月に1回開催。専門家と連携し田舎暮らし体験とアート等を推進。アートでは100人のボランティアを受け入れ。
- 報告④ 平田文昭（野尻名・副総代）
  - ・年間20回を超える集落出役作業後に持ちよりで交流会を開催し意見交換。空き家を活用し近年8名が移り込み内2名が集落協議員として活動。集落コミュニケーションがとても良い。
- コメンテータ 豊田哲也（徳島大学大学院教授、地域創生センター・副センター長）
  - ・地域づくりはコストだけでなく、活動の根っこの部分の大切さに気づかされた報告であった。地域と大学がともに学びあう関係の場となった。



### 情報共有2 上勝町資源活用事例：棚田感動ビジネス

- 報告①（榎原～市宇）ノルディック・ウォーク①（散策編）：柳瀬晴美・坂本真理子
  - ・榎原地区から市宇地区につながる文化財・集落道「往還」コースを開発し、約40名の参加を得た。市宇集落センターで、棚田ぼた餅・ユズサワーなどのお接待が好評であった。
- 報告②（八重地地区）ライトアップ：中内英夫・氏田将平（徳島大学3年・医）
  - ・約70本の竹を切り1ヶ月に約200名のボランティア支援。町内外から200名を超える人が八重地に来てもらった。想像以上に感動的な取り組みであった。
- 報告③（田野々地区）オープンファーム：武市功・二宮苑花（徳島大学2年・総）
  - ・高齢化により未収穫となったユコウを逆に活用して収穫の体験料をもらうプログラムを行った。約30名の参加で、1時間程度で14コンテナのユコウの収穫ができた。農地直採り販売も実施。
- 報告④（田野々地区）ノルディック・ウォーク②：清井了・松井佑樹（徳島大学3年・工）
  - ・シニア層の健康に着目しノルディック・ウォークで歩幅・歩速測定を行った。歩幅が60センチを切ると認知症になりやすいといわれる。ノルディック実施でほぼ全員が10センチほど歩幅が広がった。
- 報告⑤（榎原地区）棚田ウェディング：松下和照・松下千江美・西上広貴（代読）（徳島大学3年・工）
  - ・収穫祭と連携した棚田ウェディングをはじめて開催した。開催は穴吹カレッジの応援があった。参加者の全員が笑顔で感動があった。
- コメンテータ 山中英生（徳島大学大学院教授、地域創生センター・副センター長）
  - ・ことなる日常である「非日常」、やり遂げたという「達成感」、やってみて楽しい「好き（愛好）」が今後の鍵。



### 話題提供「対馬の先進事例：地域資源をみつける、いかす、つなぐ」

- 講師：川口幹子（一般社団法人MIT専務理事／主任研究員）
  - ・地域おこし隊として東北大学勤務から長崎県対馬に移住。①地域の資源、魅力や誇りを発見する活動（みつける）、地域の資源、魅力や誇りを活かして新たな産業を起こす活動（いかす）、地域の資源、魅力や誇りを多くの人に伝え創発を生み出す活動（つなぐ）を実践。



徳島大学地域創生センター上勝学舎

担当：佐野淳也、澤田俊明

<http://www.tokushima-u.ac.jp/cr/kamikatsu/> E-mail: [cr-office@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-office@tokushima-u.ac.jp)

徳島大学地域創生センター 〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地 TEL: 088-656-7684

徳島大学上勝学舎 〒771-4501 勝浦郡上勝町大字福原字川北30番地落合複合住宅事務所2号 TEL/FAX: 050-3438-8649